OWNER'S MANUAL

AM-044C

アクースティマス オートモービル ベースシステム

このたびは、ボーズ・アクースティマス・ベースシステムAM-044Cをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本機を正しく、また性能を十分にいかしてお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。またこの説明書は、必要なときにすぐお読みになれるよう、保管されることをお薦めいたします。

AM-044C取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

表示例

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止を意味します）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

カーオーディオ製品は、運転の妨げにならない場所に確実に取り付けてください。

配線および取付は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線、取付を間違えると、火災、その他の事故の原因になります。

本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。
火災などの原因となります。

アンプのアースをとるときなど取付作業に際して、車体のボルトやナットを使用する場合は、ステアリング・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品は絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制動不能や発火又は事故の原因となります。

必ず、バッテリーのマイナス端子を外してから取り付け・配線を行ってください。
ショート事故により、火災が起こるおそれがあります。

コード類は、取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。
ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

事故防止のため、小物類<電池・ねじ等>は幼児の手の届かないところに保管してください。
お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師とご相談してください。

電源リード線の被服を切って、他の機器の電源を取ることは絶対におやめください。
リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

警告

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

<本機>を分解したり、改造しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。
規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。

万一<異物が入った・水がかかった・煙りが出る・変な匂いがするなど、異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

カーオーディオ製品取付終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取付をやり直してください。

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災の原因となるおそれがあります。

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被膜が壊れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電源容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

注意

必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると<機器>内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。

不安定なところや振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。
外れて事故や怪我の原因となることがあります。

<本機>の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部の熱がこもり、火災の原因となることがあります。

車体やねじの部分・シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。
断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。

本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。

アンプの使用中は、放熱器に触れないでください。

特　長

■高い耐入力、高い能率を実現するアクースティマス方式

ドライバーユニットをキャビネット内部に収め、コーン紙の前後に発生するエネルギーを最大限に活用するボーズ独自の重低音再生理論です。キャビネット内部の空気がコーン紙に過大な動きを強要しないため、分割振動が原因となる非直線歪や混変調歪等の少ない高品位な低音を再生。また、ポートのフィルター効果により高調波歪等はキャビネット外には放出されません。

■キャビネットの小型化を可能にするデュアル・ボイスコイル

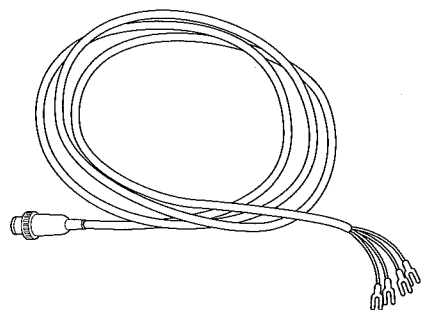
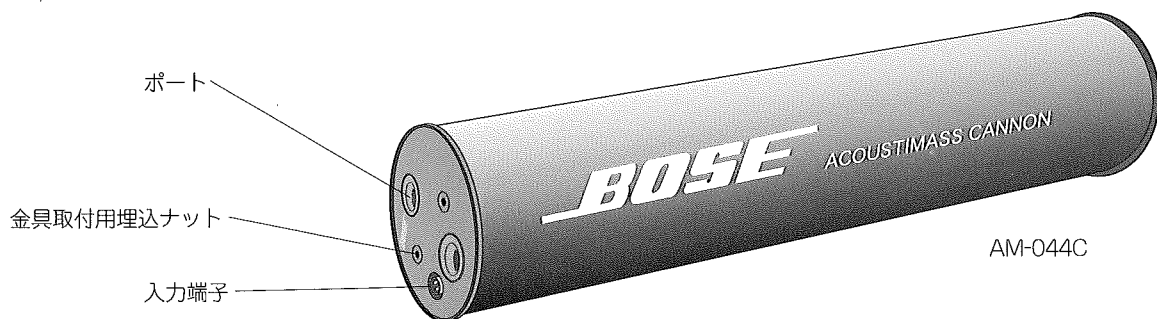
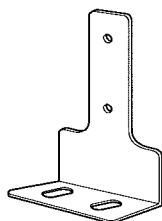
1つのコアに電気的に独立した2つのボイスコイルを巻き上げることで、2つのチャンネル信号を電気的にミックスすることなく、合成することができます。その結果、必要とするエンクロージャーの容積を大幅に小型化することが可能になりました。

■クリアな再生を実現する円柱形状のキャビネット

円柱形状のキャビネットは構造上の重心と音響エネルギーの圧力を受け止める中心が一致するので、構造的にも高い剛性が得られ、球に次いで極めて安定したキャビネットといえます。不要な共振や定在波を防ぎ、クリアな再生を可能にします。

開梱時のご注意

もし、開梱時に損傷、不良箇所などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

各部の名称および付属品

スピーカーケーブル
（4Pメタル・コネクター⇆U端子）×1本

固定金具×２個

固定金具用ネジ×4個

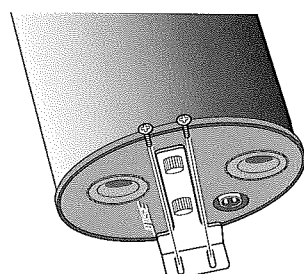
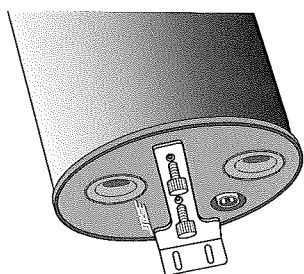
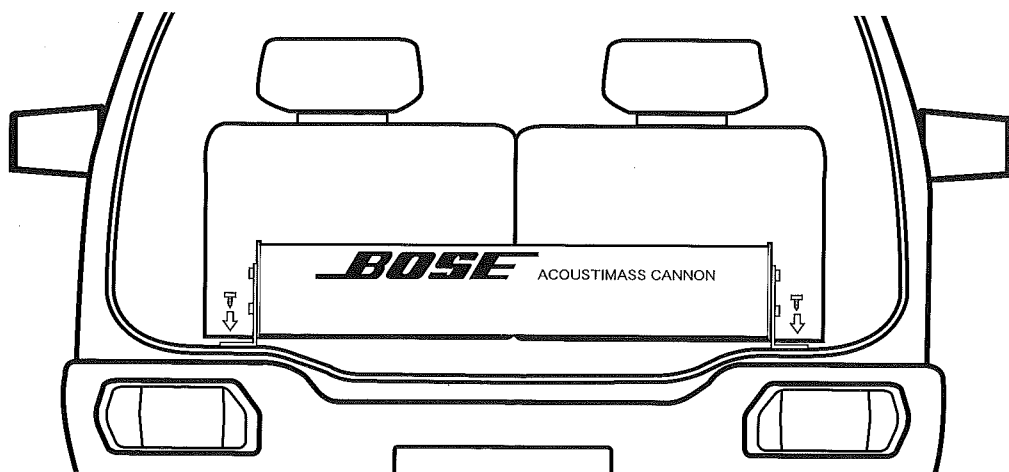
設置場所の選定と注意

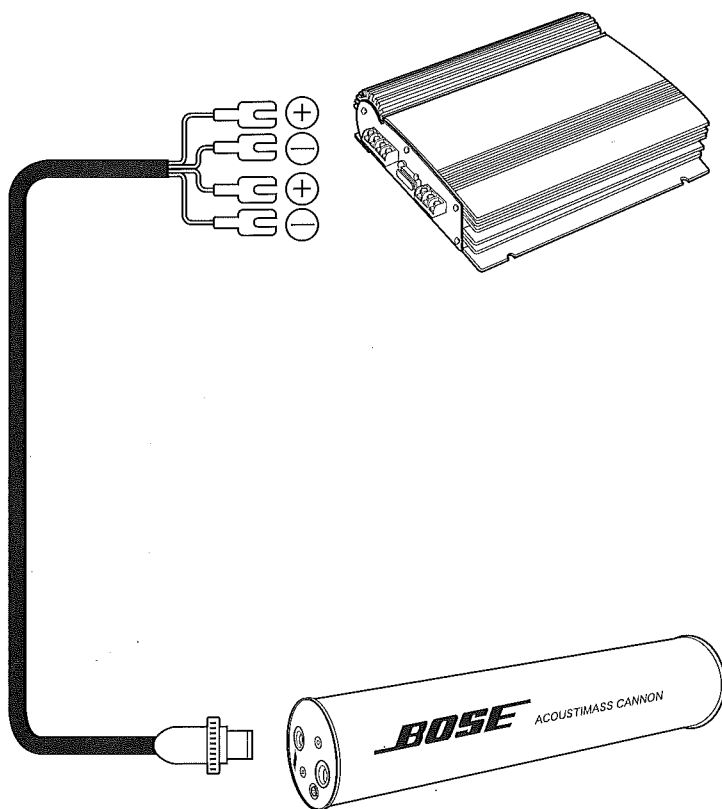
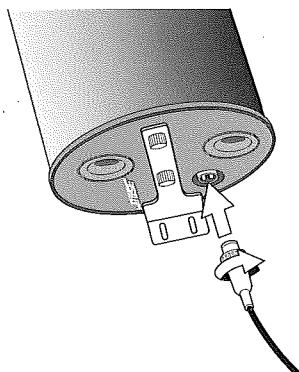
AM-044Cはコンパクトなボディで、しかも音の定位を感じさせない低音のみを再生するように設計された"小型高性能サブウーファー"です。組み合わせるスピーカーとの位置関係を気にせず、自由度の高いセッティングが可能です。ただし、設置の際に下記の点に注意してください。

■低音のエネルギーは2箇所のポート（各部の名称を参照）から放出されますので、このポートを塞がないようにしてください。

■ポートから硬貨などの異物が内部に入ると取り出せなくなる場合があります。お子様の手の届く場所に設置する場合はお気を付けください。

1.固定用ネジを使って、固定金具をAM-044Cの金具取付用埋込（4箇所）に取り付けます。

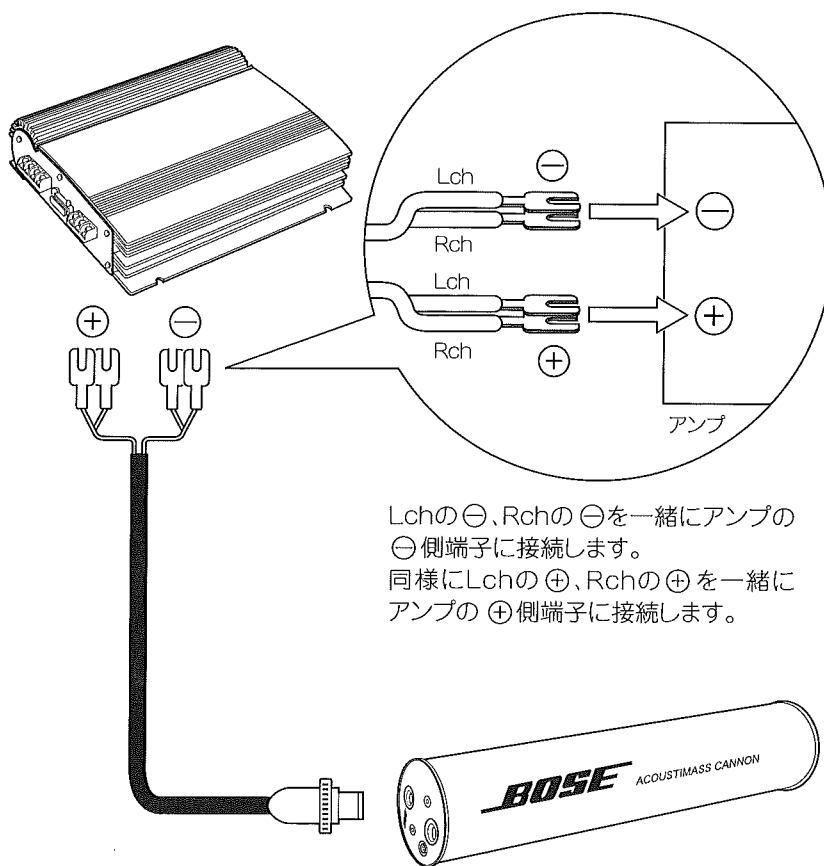
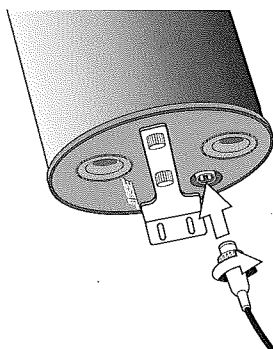
2.図のように、固定金具を車体に固定してください。
※固定金具を車体に固定するためのネジ類は、取り付ける方式によって異なるため付属されておりません。別途ご用意ください。

◆設置例◆

接続について

◆ステレオアンプで使用する場合◆

AM-044Cの入力端子に付属のスピーカーケーブルを差し込んだ後、しっかりと締め込みます。

ご注意
事故防止のため、アンプなどの電源を外した状態で配線作業を行ってください。また、結線をする際は、極性（⊕、⊖）を間違えないように十分注意して行ってください。

◆音出しする前に◆

●使用機器の電源を入れる前に、アンプのボリュームが最小になっていることを確認してください。
●使用機器の電源を入れる前に、もう一度スピーカーコードの⊕、⊖が接触していないかを確認してください。ショートしている状態での使用はアンプの故障の原因となります。
●スピーカーケーブルの極性（⊕、⊖）を間違えなていないかを確認してください。⊕、⊖が逆になっていますと低音がほとんど聞こえない場合があります。

◆モノラルアンプ（パラレルイン方式）で使用する場合◆

LchとRchを並列直列につなぎます（総合インピーダンスが４Ωになります）。

Lchの⊖、Rchの⊖を一緒にアンプの⊖側端子に接続します。
同様にLchの⊕、Rchの⊕を一緒にアンプの⊕側端子に接続します。

AM-044Cの入力端子に付属のスピーカーケーブルを差し込んだ後、しっかりと締め込みます。

ご注意
事故防止のため、アンプなどの電源を外した状態で配線作業を行ってください。また、結線をする際は、極性（⊕、⊖）を間違えないように十分注意して行ってください。

◆音出しする前に◆

- 使用機器の電源を入れる前に、アンプのボリュームが最小になっていることを確認してください。
- 使用機器の電源を入れる前に、もう一度スピーカーコードの⊕、⊖が接触していないかを確認してください。ショートしている状態での使用はアンプの故障の原因となります。
- スピーカーケーブルの極性（⊕、⊖）を間違えないていないかを確認してください。⊕、⊖が逆になっていますと低音がほとんど聞こえない場合があります。

仕　様

＜本体＞

方　　　式	アクースティマス
インピーダンス	8Ω
許 容 入 力	80W+80W（rms IEC268-5　デュアル入力）
周 波 数 特 性	40Hz～200Hz
ユ　ニ　ッ　ト	15cm（デュアル・ボイスコイル）×1
サ　イ　ズ	φ170×800mm
重　　　量	4.0kg

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社

〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1133
98・9・0.3K・A・1(I・M)